

令和3年度 (一社) 犬山祭保存会理事会 第8回 議事録

●日時

令和4年4月23日(土) 18:00～19:30

●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

●出席者(敬称略)

【常任理事】会長(石田)、副会長(大澤渡、澤野)、会計(下山)、財務特別委員長(今井)、伝統文化副委員長(長井)、てこ委員長(浅野)、てこ副委員長(吉田成伸、陸浦)、企画広報委員長(松田)、企画広報委員長代行(斉木治郎)、企画広報副委員長(柴田、林)、からくり文化振興部長(加藤)、専務理事(溝口)

【針綱神社】岡地宮司

【理事】枝町組理事(代理)、魚屋町組理事(小川)、下本町組理事(松岡)、中本町組理事(栗谷)、熊野町組理事(浅野)、新町組理事(坪内)、本町組理事(安田)、練屋町組理事(小島)、名栗町組理事(森)、寺内町理事(三輪)、余坂組理事(大澤憲司)、外町組理事(伊藤)、内田町組理事(若山)

【企画広報委員】斉木美加、前田、吉田昌司、梅田、高木

【犬山市】歴史まちづくり課(加藤課長、市野主査)、地域協働課(中村課長以下3名)、経済環境部(中村部長)

【その他】観光協会(後藤) 保存会事務員(竹村)

●議事 破損

I. ①会長挨拶 ②報告事項

II. 議題

令和4年犬山祭最終確認

●配布資料

- ① 犬山祭における一般の観光客の方からのメール、電話について
- ② 入会の御礼
- ③ 年間の行事計画案

●議事内容

I. ①会長挨拶

・会長：先日の犬山祭は皆様のご協力により、一日ではあったが三年ぶりの祭礼、車山行事を思い切って実施することができた。あれからメディアの報道を見たが、犬山祭が開催されたということで、堰を切ったようにその後、高山など全国にどんどん波及しており、犬山祭が先頭を切ったというイメージがあり、全国の祭関係者からは、ありがとう、犬山はよくやってくれた、という反応をいただいている。コロナはまだ終息していないし大変な社会情勢であるが、祭をやるものとしては厳重なコロナ対策をしつつ、つつがなく開催できたのは、皆様の大変なご理解とご支援によるものであると思う。

今回の祭は、会員制改正に踏み切ったこともあり、一つブレイクスルーしたという感じである。我々の祭がユネスコの無形文化遺産になったプロセスから予想すると、犬山城が世界遺産に今後なる可能性は、時間がかかるかもしれないが、大いにあると思う。そうなると、犬山市という自治体の文化的ポテンシャルが国際的になっていく。それに合わせて我々の意識も国際社会に向けて脱皮せねばならない。変えないところは頑固に守りつつ、変えるべきところは勇気を持って変えていくような祭にしていきたい。我々の祭は無形であり、形のないものであるから、我々の気持ちと方向性によって維持していくものである。常にリメイクとリニューアルを繰り返しながら犬山祭を作り上げていくのが、先祖から受け取って後輩たちに伝えて

いく使命であると思っている。これからも皆さんと議論をしながらそういった方向性を目指していきたいと思っているので、よろしくお願いいたします。

本日、市役所から、まちづくり協働課の方々がおみえになっている。地域協働課は、犬山市全体の町内会、コミュニティ、それぞれの団体を協働するもので、犬山市として新しい施政に挑戦しようというものである。

この犬山祭に際して、我々から情報を提供したり、地域協働課の立場から情報をいただいたりして、地域をつなぐ・ひきつぐ・ささえるという保存会のビジョンに合ったことを、お互いに情報共有していくということである。

従来は観光課、歴史まちづくり課が、犬山祭を維持していくためにそれぞれの立場で協力してくださっている。また観光協会もご協力いただいている。この方たちのお陰で犬山祭保存会があるということを再度確認しながらやっていきたい。

- ・副会長：本日は会長代行が欠席されているので、私が進行を務めさせていただく。

報告事項について。

- ・てこ委員長：4月14日に会長を含めた6名で警察署にお邪魔して、祭の御礼を申し上げてきた。
- ・半田で行われた、愛知山車祭保存協議会総会と、下半田の祭についての報告。総会は滞りなく終わった。下半田の祭は4輦の立派な山車が出ており、それを見させていただいた。この祭はお酒を飲んで行う祭で、皆さん非常に盛り上がっていた。

II. 議題

①令和4年犬山祭総括

- ・副会長：今年の犬山祭の総括ということで、各16町内の皆さんより、感想をいただきたい。
- ・枝町：伝統を守るという考えもあり、最低限の事だけということで、場ならしをさせていただいた。からくりに関しては、関わるメンバーが練習不足であったり、厄

年のため人員不足ということもあって、からくりは行わず、両日とも場ならしという形にさせていただいた。

久しぶりに車山を動かしたので、ケガが無いようにということで行ったが、無事に終了した。今後、またしっかりした祭をしたいと考えている。

- ・魚屋町：二日間無事に行うことができた。小太鼓のお囃子の引継ぎに関して、新しい子が6人入り、会所場も二週間だがしっかりやれた。ご父兄の皆さんとも連携がしっかりとれて、お子さんも楽しく参加されていた。

3年ぶりということでも早い段階で準備に入った。魚屋町はかなり協力的な方が多いので円滑に行えた。てこの人数も増えてきていることもあり、いろいろとお金がかかる場所もあったので、金銭的な面はもう一度確認する。祭が始まるといろいろなことも起こるが、非常に良かった、というのが総括である。

- ・下本町：基本的に安全に運行できた。祭の一週間前、下本町の交差点でよそ見運転の人身事故があり、祭の時だったらもっと大変なことになったのではと思うところがあった。祭の時に、駅前通りは、今後何が起きるか分からない中で、祭の時だけは駅の通りは交通規制をしていただけたらと思う。

→専務理事：ご意見に関しては事前に観光課と相談させていただいていた。実際には二日目は中止になったが、実施されていたら、手前の鍛冶屋町から流そうという事で話がまとまっていた。歩道が狭く人が溢れてしまうので、確かに危険である。観光課の所轄なので、今後善後策をよろしく願いしたい。

- ・中本町：一日目は無事に終わった。車山を電線に引っ掛けそうになった箇所もあったが、なんとか無事に終わった。電線のことに関しても、しっかり伝えていかないといけないと思った。前後の町内の車山にはご迷惑をおかけしたが、なんとか車山も傷がつくこともなかったのが良かったが、伝えないといけないことをしっかり伝えてやっていきたい。
- ・熊野町：自町内の車山は町外へはどこへも行けないので、昼も夜も自町内のみで車山の後ろは町民とわずかな観光客のみで、皆さん密にもならず伸び伸びと車山を曳

くことができた。一日目の夜は早めに片づけて完了報告をさせていただいた。安全なお祭を行うことができた。

→専務理事：電線点検の不備があったので、今後慎重によりしくお願いしたい。

→南熊野町から名栗に行くところは、私の目測で行けると判断したが、行けなかった。余坂の西側の電線はまったく気にしていなかった。新町も車山蔵の向こうが工事をされていて、ボーデンが引っ掛かったということである。

寄りすぎるとひっかかるというのはどの町も同じなので、あれ以上電線を上げることはできないので気を付けていただきたい。

- ・新町：電線については一週間前に対応していただいたが、我々の車山も引っかかってしまった。各町内の皆様のご協力で、ほぼめいっぱい時間の許す限りやらせていただいた。町内では、19世帯だったのが、1世帯減って3世帯増えた。3世帯とも若いご夫婦だったのでこをやっていただいた。大変喜んでいただき、町内の会議でも今後もやって下さるとおっしゃっていた。今後もそのように進めていきたい。
- ・本町：久しぶりに車山を出して、本楽では幕を飾りたかったが残念ながら中止になったので心残りではあるが、次回は車山がしっかり曳けるようにしたいと思っている。
- ・練屋町：一日半思い切りやらせていただいた。今年はこの編成が変わり、9割近くの割合が新てこだったが、今後もやってくださるとのことだった。
- ・名栗町：昼と夜とで両方できて良かった。お囃子の方で、コロナ対策関係で参加できない方もみえたため、一部生演奏でなくDVDを使ったケースもあった。若いお囃子の方も増えたので、伝承を続けていきたいと思っている。
- ・寺内町：両日とも安全策をしっかりできた。日曜の事に関して、天候の変化というものがやはりあるとは思いますが、もう少し柔軟にやって頂けたらと個人的な意見としては思う。

- ・余坂：奥村亭の前の電線のところで少しごたついたが、なんとか対応できて無事に済んでよかった。日曜日は雨だったが、土曜には一日めいっぱい全員が祭を楽しめたと思う。事故やケガがなく無事終わったことに感謝している。
- ・外町：土曜日の車山組みから日曜まで二日間やらせていただき、無事事故も無く、下山上山町内とすべて伝承できたと思う。車山組は今回二年ぶりということで、結構組間違えているところもあったので、今回しっかりやれてよかったと思っている。
- ・内田：二日目、雨があまり降らなかったのが、衣装だけ借りて、地元の神社で奉納して写真を撮った。今までは8人参加だったが、今年は16名の子供さんが参加で、付添の保護者の数も合わせると合計で52、3名となったため、これで実際に祭が行われた場合に、犬山城の前まで行けるだろうかという心配はあった。
- ・副会長：今回、女性の方として初めて参加された方にお話をうかがいたい。
- ・企画広報委員：今回、ここに初めて参加させていただいた。ご町内の皆さまのご協力あつての祭であると思うし、本当に感謝している。男性はこんなに楽しいことをしていたのかと思い、もっと早く参加したかったと思った。今後もてこをやらせていただきたいのでお願いしたい。
- ・観光協会：今回のお祭ではいろいろとご協力いただきありがとうございます。3年ぶりということで今回は39の媒体で祭をご紹介いただいた。中日新聞にも久しぶりに1、2面に取り上げていただいたし、フジテレビは全国ネットのニュースや、ヤフーニュースのトップでも取り上げていただいた。来年もよろしくおねがいいたします。
- ・副会長：久しぶりに飾り車山を見られて嬉しく思っている。また来年4月にお祭を楽しみたいと思っている。
- ・会長：地域協働課から一言お話していただきたい。
- ・地域協働課：地域協働課は令和二年からできて、町内会や地域のコミュニティなど、そういった団体のご支援をさせていただいている。地域の中で活動されている市民団体さんのご支援もさせていただいている。そういった中で、地域でいろいろ

な課題や問題が出てきている。そういった市民活動やコミュニティ活動における問題を解決できたら、ということで動いている課となる。

令和二年のスタートと同時に、かつて観光センターであった犬山のフロイデが市民交流センターとなったが、そこに協同プラザというスペースがあり、その中で市民活動や地域活動の支援をさせていただいている。今後皆様の活動や、地域での市民活動をされてみえる方との関わりを持たせて頂けたらと思い、本日こういった場でご紹介をさせていただいた。

犬山は人口が減っている状況にあるが、外国人の方も増えている。外国人の方が地域でみなさんと共存していけるようにといった支援も始めているので、そういった問題等が町内であれば、地域協働課にご相談いただき、一緒に問題を解決していけたらと思っているので、ご理解をいただけたらと思う。

- ・専務理事：観光協会へメールで来た文章と、保存会の事務局にメールに来た文章を配布した。読んでいただければ解るが、クレームではなく応援メッセージであるので、その様にご理解いただきたい。
- ・からくり振興部長：先日、CBCチャットというテレビの番組の方が取材にみえた。5月11日に放送される予定である。

先日、紅葉狩りの人形の手が動かないということで、保存会の方で直していただいた。ありがとうございました。

②その他

- ・副会長：会員会費制について。
- ・会長：会員になって頂いた方に、個々に御礼を言いたいと思って草案したが、伝達する手段がない。保存会の広報誌を作るといった案もあるが、どのように個人個人にお伝えするかは今後議論していく予定。今、世の中が、組織や集団からそれぞれSNSなどによって個々の社会になりつつある。そういったネットワークについても保存会で研究して、絶えず皆さんのところに情報がすぐ届くようなシステムを作

って、できるだけ多くの情報を会員に流していくような形にしていきたいと考えている。

今後の保存会の行事計画について。「つなぐ・ささえる・ひきつぐ」これは犬山祭保存会を法人化した時に最初に書いた言葉であり、犬山祭保存会をどういった方向に持って行くかというビジョンである。これを絶えず確認していく。地域のコミュニティ（共同体）、生活の中の繋がり、それをつなぐ・ひきつぐ・ささえるということで、これを保存会の組織でやっていくことがビジョンである。犬山祭を通して、先輩から受け継いだものを後輩に繋いで引き継いでいく、そして地域のコミュニティを支えるということである。いろいろな困った人に手を差し伸べ、お互いに支え合うのが方向性であるということ絶えず確認しながらやっていきたい。

今回痛切に感じた事は、一年を通して保存会活動をしたいということである。そのためには、針綱神社の祭礼は4月に固定されているが、車山やからくりといったものは祭礼以外にも練習したり、地域のためにからくり町巡りのようなものを行ったり、車山蔵の管理、清掃といったことを会員皆でやっていくということである。例えば、保存会に入っていたいただいた会員の方には、保存会で具体的に皆さんと相談して決めた日にちで、この日は一斉に車山蔵の掃除をするといったことをして、町内の中に会員が入っていく。管理清掃は大事である。また車山組みや、車山を下ろしたりといったことを、年間を通して、会員の仕事としてやっていくということを考えていきたい。

またお囃子に関して言うと、例えば知多半島の祭はお囃子の練習を一年中やっている。先日、半田に行ってきたが、犬山のお囃子とはかなりレベルが違う。犬山の場合は祭の前に一週間くらい練習をやるが、半田の場合は年間を通してお囃子をやっており、発表会もやる。犬山でも城下町演奏会のようなイベントがあるが、こういったものとコラボしながら保存会のお囃子やからくりの練習をやっていきたいと思っている。繰り返しになるが、すべてをこの理事会で相談しながら決めていきたい。

また、先程でこ委員長から犬山警察に行った時の報告があったが、警察の地域安全課のような警察行政と、保存会の組織とで何か連携することができないか。警察にいろいろと情報を提供するが、警察行政は県の行政なので、市役所のような身近な

存在ではないかもしれないが、とても大切である。そういった警察を保存会が支えて言う、といった形にもう一步進めることはできないか。2日間の祭において、公道を我々祭関係者だけが使うことができるというのは、とても大変なことである。それに対して、我々が警察行政に支援をしていく、ということも保存会でやっていきたい。消防とも同様に連携していきたいと思っている。

最近、社会は個別化していつている。犬山祭も、SNSのような形で個人とつながっていきながら、地域全体の磁場に吸い寄せていくような形にしていくと良いのではないかと思う。

以上が、今年の祭、この二年間の議論を受けて、どのような方向に行くのが良いのか、という提案である。もちろんこれから議論をしていきたいと思っているのでよろしく願います。

- ・会計：これまで、保存会の決算が5月締めとなるため、6月1日から翌年度という扱いでやってきた。しかし、各町内の45万と5万の助成金は3月31日、保存会の200万の助成金と言う形で決算を迎える。そのため、4月分と5月分に関して、毎年、助成金と保存会の決算を二回組むという形となっていたが、これは非常に手間がかかる。

今年、祭が縮小版ということで、4月に両方の決算を出すことができたので、保存会の5月の決算を、年度末の3月31日で締めていただけると同じ扱いになるのでありがたい。これは皆様には迷惑のかからない話であるが、仮に変更となると、例年7月に行っている総会の日程が、ゴールデンウィーク明け頃になると思われる。

- ・専務理事：会計年度の期日の変更ということになると、定款変更の必要がある。総会の前の理事会で、皆さんで議論するということが良いのでは。
- ・会計：よろしくおねがいたします。また、各16町内の助成金の皆様方に、各町内の助成金の提出をしていただいたが、付け足しの必要がある町内があるので、後ほどご相談させていただきたい。
- ・副会長： 次回の理事会は総会に向けての組織改革、会則変更、人事等について検討していく予定なのでよろしく願います。

●次回日時

令和4年5月21日

●次回場所

からくり館2階

●記録日

令和4年4月30日

●記録者

竹村

●署名

石田芳弘

溝口正成